



集う全てのひとに学びのある学校を目指す 杉並区立松溪中学校



このシリーズの第5回は、松溪中学校の辻成一郎校長先生からお話を伺いました。

★概要

松溪中学校（以下「松溪中」）は、1948年（昭和23年）の創立、今年が開校して74年目を迎えます。この間、2000年に今の新しい校舎に替わりました。広々とした校庭にエコロジーに配慮した校舎が立っています。在籍する児童数は304名（2020年12月1日現在）、10学級からなっています。南隣りには西田小学校があり、学園地区をなしています。学区の保護者は教育にたいへん熱心な方が多く、学校教育に対して協力的で、町内会、自治会などもしっかりと組織されており、学校への協力も積極的とのこと。今年度、新型コロナウイルス感染症拡大によって学校運営でご苦労をなさっている最中、快く取材を受けてくださいました。

★学校の特徴

松溪中は、机上の学業面のみならずスポーツや芸術面でも優れた成果を上げているといわれています。長く吹奏楽部は有名ですし、スポーツでは、今年度秋の新人戦で優勝しました。学校の教育目標として、「自学・自立」、「鍛錬」、「思いやり・感謝」を上げていますが、学校の位置づけをユニークにしているのは、目指す学校像として「集う全てのひとに学びのある学校」であろうとしていることです。学ぶのは生徒だけではなく、教職員も教育をする立場で「学び」続けることを求められています。保護者、卒業生も同様で学校を理解し、学校を支えようとする体制ができています。保護者に加え地域も加わった学校支援本部の活動が行われてきましたが、その延長線上に、昨年度から学校運営協議会が立ち上がり、コミュニティスクールとしての松溪中を支えています。



「メルクマールを残そう」の例
(修学旅行の経験から制作)



文化部部活風景

★具体的な教育活動

- ①「メルクマールを残そう」：自分で課題を見つけ、将来、社会に出ていく生徒が、興味をもっていること、今できることや未来に向けてすべきことは何かを考え発信していく「言語表現活動」として松溪中の総合的な学習の柱となっています。
- ②読書活動：年間を通して朝読書を実施、読書活動の充実を図られています。毎月発行の「図書館だより」が豊富な情報を提供しています。（平成20年度文部科学大臣表彰対象）
- ③外部人材の有効利用：学校支援本部との連携のもと、卒業生と語る会、道徳授業地区公開講座、いのちの教育など、ゲストを招き多様な学習の機会を設定しています。
- ④いのちの教育：生きることに感謝し、生徒同士が互いを思いやる気持ちをもつことを目標とし、自他の命を大切にする心を育むことを志向しています。



運動部部活風景

★辻校長の思い

辻先生は昨年9月に着任されましたが、まず最初に、「穏やかで温かく信頼できる生徒」たちであることを感じたと言います。どんな道に進んでも、その中で、大きな視野を持ち、やりがいを見つけ、自分にしかできない仕事をし、その世界で必要とされる人になって欲しいという願いをもっており、それに必要な日々の教育をやっていきたいとおっしゃっていました。

杉並区立松溪中学校

住所: 167-0051 東京都杉並区荻窪2-3-1 電話: 03-3392-7328
ホームページ: www.suginami-school.ed.jp/shoukeichu/